



社協 *naha* だより 9 月号

- ・個人や団体・企業など、みなさまからのボランティア相談
- ・各種ボランティア保険
- ・学校や企業などを中心に“ふくし”に関する講座
- ・無料で使えるボランティアサロンの貸出
- ・災害ボランティアセンターの設置運営



など、さまざまなご相談に応じています。

那覇市内では多くのボランティア団体が地域活動をしており、那覇市ボランティア・市民活動センターには例年60団体前後が登録しています。今回は、いくつかの団体の活動をご紹介します。

詳しく知りたい方は各団体のHPをご覧ください。本会ボランティアセンターまでお問い合わせください。

那覇市ボランティア・市民活動センター

TEL:098-857-7766 FAX:098-857-6052

Mail:7766volu@nahasyakyo.org

LINEofficial: @880hwhcq



もくじ

| | | | |
|------------------|---------------|-----------------|----------------|
| 那覇市ボランティアセンター… 1 | 代表者交流会 憩の家… 4 | 子どもの居場所…………… 5 | 相談窓口…………… 7 |
| 特集 那覇市社協のボランティア | ファミサポ講習会 | 活動アラカルト…………… 6 | ボランティアBox、他… 8 |
| 活動者の声…………… 2・3 | ピアサポーターの紹介 | サロン「ゆんたくカフェ」… 7 | フードドライブ募集、他 |

Instagram
Facebook・Twitter
やっています!
チェックしてみてね!



那覇市ボランティア・市民活動センター

TEL 098-857-7766 FAX 098-857-6052

Mail 7766volu@nahasyakyo.org LINEofficial @880hwhcq



LINE

沖縄クリーンコーストネットワーク

私たちの青い海、白い砂浜など沖縄の豊かな自然を守りたいと願う人びと（行政、各種法人、ボランティア団体、マリンレジャー団体等）が集まったネットワークとして2002年に結成されました。

参加メンバーが会則・規約に拘束されることなく、会費もありません。自由な活動や、情報の共有などを効果的に進めるため、緩やかに連携することを目指しています。政治、宗教活動及び利益追求に利用しない限り、だれでも参加することが出来ます。また、清掃活動を計画・実施した際の活動報告を、ホームページから多くの方へ知ってもらうことで、環境保全の知名度向上と意識高揚を目指しています。

SDGs の浸透と共に学生等の若い方の海洋環境保全への関心度向上などから、新規メンバーが増加し、頼もしいボランティア団体です。

NPO 法人シニアネット NAHA

55歳以上のシニア層に対して、ICTリテラシー・情報通信技術の知識及び利用能力の向上を図るパソコン研修などの事業を行い、シニア層の積極的な社会参加による社会教育の推進・情報化社会の発展に寄与することを目的として発足しました。

2008年前身のNPO法人沖縄ハイサイネット那覇教室として、那覇市文化てんぶす館でシニア向けパソコン講座を開始。14～15年に総務省実施の実証実験「高齢者のICTリテラシー向上に質する講習会」の講座運営を受託し、同省指定の南城市においてタブレット講座を、15年には那覇市公益受託基金を使ってタブレット講座を開催しました。

また、18～19年はFacebook社より「大人のためのFacebook入門講座」を受託し実施しており、今年度も引き続き同種の事業を継続しています。今後も市町村とコラボした事業を模索中です。

伴走ランナーネットワーク

伴走ランナーは、一人で走ることに支障のある視覚障がい者でもジョギングや長距離走競技ができるように、伴走しながらガイドすることが役割です。「沖縄伴走ランナーネットワーク」は、視覚障がい者のジョギングライフを支援するとともに、会員相互の親睦、交流を図ります。マラソンのペース配分計画を立てるために重要な目安になる「完走ペース配分表」を自由に閲覧できるよう、ホームページに掲載中です!!

また、「沖縄伴走ランナーネットワーク」ではただいま会員を募集中です。①視覚障害があるため今までスポーツ参加をあきらめていた方。②伴走ランナーとなって障がい者スポーツを支援したいという方。③伴走ランナーになるのは体力的に難しいけれども、会の活動に協力したいという方。ぜひ、ホームページからご登録ください。

ネパール献血者協会・日本 (Nepalese blood donors association Japan)

ネパールから沖縄に来た留学生を中心に2021年に結成された団体です。結成のきっかけは、コロナの流行により血液不足で困っているという、沖縄県血液センターからの呼びかけでした。

ネパールは交通事故が多いという国柄もあってか、献血が盛んです。私たち留学生を温かく迎え入れてくれた沖縄に恩返しをしたいという思いから、ネパール人をはじめ各国からの留学生同士で呼びかけあい、献血の啓発活動を始めました。

活動・会員ともに全国に広まっています。「血液は人種や貧富に関わらず分け合える」をモットーに、①日本全国で献血者数を増やす、②献血を希望する人へのサポート、③日本赤十字社と連携し献血への啓発を通じて献血者を増やすこと、の3本柱を掲げて活動を続けていきます。「ひと家庭に一人の献血者を」という願いが実現できるよう、これからも頑張ります。

琉球郵趣会 (りゅうきゅうゆうしゅかい)

琉球郵趣会は、1952年7月に「琉球切手友の会」として発足し、活動を始めて昨年で70年を迎えました。米軍統治時代、沖縄では美しい琉球切手を使用され、沖縄だけでなく本土や世界に向けて多くの手紙が運ばれたことにより、琉球切手は世界中にファンをもっていました。また、沖縄は外国として扱われ特別の料金が適用されました。

琉球郵趣会では、これらの郵便物を「沖縄の戦後の歴史の一端を示す大切な財産」と考え、後世に残すため、沖縄や本土の郵便料金を調査し、切手や葉書など郵便に関する資料を保存する活動をしています。

もしお手元に米軍統治下～昭和の終わり頃の郵便物がありましたら、それが歴史的に貴重なものかもしれませんので、ご処分前にぜひご連絡をお願いします。

手話サークル・鈴の会 第1～4日曜日 午前10時～12時

手話ストレッチダンス・ふちゅくるの会 第3・4日曜日 午後2時～4時

※どちらの団体も「ボランティアサロンまわし」(真和志支所2F)で活動しています。見学・体験の希望者は、活動日にサロンまわしへ直接お越しください。参加無料。

ろう当事者と一緒に、家庭的な雰囲気を大切にしながら会員同士の交流を楽しんでいます。年齢や手話の経験年数に関わりなく気軽に参加していただけます。

これから手話に関する資格取得にチャレンジする方にとっては、当事者との交流により知らない単語を覚えたり、ニュアンスで理解する方法が身に着くととても良い機会になっていますよ♪

金城老人憩の家 利用者代表者連絡会交流会

同好会・講座の利用者代表者へ、この「1年間よろしくお願いします」という思いを込めるとともに、他の代表者との交流を図って情報交換をしていただく機会として、3年ぶりに交流会を開催しました。なかなか行く機会がない、牧志第一公設市場→ホテルランチ→沖縄特産販売→イーアス沖縄だったことや、他の代表者と交流できたことを喜んでいました。次回も参加者を募ってのピクニックの開催を待ち望んでいます。(担当：上原)



ファミサポ「保育サービス講習会」

7月18日(火)から21日(金)までの4日間、ファミリーサポートセンターの協力会員を養成する「保育サービス講習会」が行われました。講習会では「子どもの遊び」や「心・身体の発達」、「小児看護」、「赤ちゃんのお世話」などを学びました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の為3年間中止していた「調理実習」「保育園実習」も再開し、笑顔があふれる楽しい講習会となりました。地域で子育て中の皆様やお子様方を支えるサポーターとしてご活躍を期待しております。次回の講習会は2月を予定しております。(担当：青木)



「ゆんたく相談室」～ピアサポート事業～

ピアサポーター(当事者相談員)による相談室を開所しています。生活の中で困っていることや悩みごとはありませんか?同じ障がいを持った4人の仲間(ピアサポーター)が情報提供や相談、アドバイスを行っています。相談だけに限らず、ひとつの居場所、外出のきっかけとしての来所も大歓迎です!

開所日 毎週(水)13:00～15:00(視覚障がいのみ)
毎週(木)14:00～16:00(障がい問わず)

場 所 那覇市総合福祉センター2F
※予約は不要ですが、休止の場合もあります。事前にお問い合わせ下さい。

問合せ TEL:098-891-8454 携帯:080-1739-1383(開所日、開所時間のみ)



子どもの居場所サマーフェスタ開催しました!



子どもの居場所サマーフェスタを7月29日(土)に、那覇市総合福祉センターで初めて開催しました!

居場所は基本的にボランティアで運営されています。特に立ち上げ一年目は実績もないため、なかなか助成金を獲得できません。そんな居場所の活動資金の造成を目指してフェスタの中でフリーマーケットを企画しました。

当日は天候に恵まれ、会場は大賑わいで約300名にご来場いただきました。フリマでのお買い物だけでなく、出店者による軽食、工作、遊び体験など、盛りだくさんの楽しいイベントになりました。今後も続けて開催しますので、皆様のお越しをお待ちしています。(担当・松長)



居場所交流イベント「つながる」大切さを共有



子どもの居場所支援や学習支援を全国で展開する「認定NPOキッズドア」によるイベントが7月14日に開催されました。「ネットワーク構築とその継続について」と題したクロストークに那覇市社協も参加し、「つながる」ことの大切さや連携事例を共有しました。

クロストークには、県内の居場所やネットワーク運営団体らが登壇。居場所同士がつながることで、「プラスになる情報だけでなく、元気を貰えて、また活動を頑張れる」という声がたくさん挙がりました。「サポートセンター系」でも引き続き、交流会や茶話会を通じて、居場所同士や、地域とのつながりづくりに力を入れたいと思います。(担当・浦崎)



ロッテのアイス寄贈 那覇地区漁協が冷凍倉庫提供

連携する全国食支援活動協力会によるコーディネートで寄贈の提案があり、7月14日、(株)ロッテ様からのアイスクリーム150ケース約3300個が届き、那覇市内の子どもの居場所30か所や県内の子どもの居場所に美味しいアイスをお届けすることができました。

那覇市社協では大きな冷凍庫がないため、これまでご支援いただいた事業者様やそのご縁をたどって、今回は那覇地区漁業協同組合の冷凍倉庫を5日間、お借りすることができ、無事に子どもたちに届けることができました。

子どもたちの笑顔のために労を惜しまない協力者のみなさんの取り組みに心から感謝です。(糸・浦崎)



～多様な団体と手をつないで～

地域福祉のさらなる推進のため、
今回那覇社協として2つの協定を締結いたしました。

那覇市社協 × コープおきなわ

那覇市社協と生活協同組合コープおきなわは 7/5、包括連携に関する協定締結の調印式を行いました。これまで、高齢者の買い物支援や子どもの居場所支援等で連携してきましたが、今回の協定締結を機に、フードドライブや防災の取り組み等お互いの強みを生かした仕組みづくりを展開していきたいと考えています。理事長の川越雄一郎様からは、『単独だと成り立たないことも、色々な団体が協力すればできることは沢山ある。』と力強い言葉をいただきました。(担当：神田)



那覇市社協 × 『地域の足』移動支援プロジェクト

7/25 に行われたのは、『地域の足』移動支援プロジェクトの共同実施に関する協定締結調印セレモニーです。首里の大名第二団地自治会で実施している本プロジェクトで活動中の4団体（大名第二団地自治会、社会福祉法人ゆうなの会、社会福祉法人若杉福祉会、那覇社協）が、今後も協力してプロジェクトを継続していくために、それぞれの役割を明確化する事を目的に協定を締結しました。セレモニーには、地域住民や車両を提供しているトヨタグループの関係者も出席し、多くの方々関わっている本プロジェクトの重要性を改めて認識した式となりました。(担当：新垣)



令和5年度 地域見守り隊交流会 開催!!



梅雨が明け、雲一つない青空が広がった6月に、令和5年度 地域見守り隊交流会を開催しました。今回は、「見守り活動をしているの喜びや悩み、これからしてみたいこと」について、情報共有を目的に行いました。グループワークでは、「訪問して『ありがとうね』と言われ、やりがいを感じる」「隊員も高齢化している」「見守り隊のユニフォームを着て訪問すると安心して対応してくれる」など、多くの意見を聞くことができました。今回の交流会を契機に、一緒に安心・安全な地域をつくっていきましょう！（担当：野原）



ふれあい・いきいきサロン

「ゆんたくカフェ」



県営上間第二市街地住宅で77カ所目の「ゆんたくカフェ」が開所しました。

自治会集会所を活用し、コーヒーと地元のパン等を楽しみながら活動しています。開所式に、真和志第3民生委員児童委員、那覇市地域包括支援センター国場、Vouloir（パン屋）代表：照屋会長より「健康体操・講話等の活動も取り入れ、介護予防にも努めていきたい」とお話がありました。

最後は、みんなでカチャーシーを踊り、楽しい開所式でした。

気軽に集える場所として、地域のゆいまーるの輪を広げていきたいと思えます。

(担当：山城)



なは社協 相談窓口のご案内

ふれあい福祉相談室 ☎ 857-7780

生活上の心配ごと、悩みごと、どのようなことでも気軽に相談できる一般相談・司法書士相談があります。
(秘密は厳守で相談は無料です)

生活福祉資金貸付事業 低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者の属する世帯に対する資金貸付

司法書士専門相談 毎月第2金曜日/午後2時～4時 予約制
弁護士専門相談 奇数月第4金曜日/午後2時～4時 予約制

ボランティア活動・行事用保険 ☎ 857-7766

ボランティア活動・行事用保険は、ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや賠償を補償します。

デイサービスあしびなー ☎ 080-1739-1355

利用者の方々が住み慣れた地域から通い、日々、生きがいのもてる暮らしを応援し、ご家族の身体的、精神的な負担を軽減します。

障がい者生活支援センター「ゆいゆい」 ☎ 891-8454
FAX.857-6052
在宅で生活する障がい者が「自分らしく」暮らしていけるように支援をしています。
● ピア（同じ仲間）サポート ● サービス利用計画の作成

地域福祉権利擁護センター ☎ 857-4525
FAX.857-6052
日常生活自立支援事業
認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などで、自分で判断することが難しい方々の福祉サービスの利用手続きや、医療費・公共料金の支払い等の日常的な金銭管理のお手伝い、書類の預かりサービスを契約に基づいて行っています。

居宅介護支援事業 ☎ 891-8236
FAX.859-8388
安心して在宅生活が営めるように、家族、医療、介護保険サービス事業所等と連携を図ると共に、社会資源を活用しながら支援を行ないます。

ホームヘルプステーションわかば ☎ 859-8383
FAX.859-8388
ご自宅に介護専門職が訪問し、身体介護及び生活支援サービスを提供します。
● 訪問介護 ● 総合事業 ● 障がい福祉サービス

広告

医療保険療養費支給申請ができます

ご自宅や介護施設まで出張施術します

沖縄本島全域、および宮古島、伊良部島、石垣島、八重山諸島、久米島、伊江島で訪問治療します。

治療内容 はり、お灸、マッサージ

琉球治療院 詳しくはwebを検索! 検索 お気軽にお問い合わせください 【営業時間 9:00~18:00】 ☎ 0120-680-006

那覇市社協関連 9月10月の主な行事

9/29(金) 地域ふれあいデイサービス 25周年記念 第11回敬老祝い

10/1(日) 赤い羽根共同募金運動スタート(出発式)

10/13(金) 第47回那覇市社会福祉大会



コミュニティサロン太陽食堂 みんなで大掃除♪

夏休みこそってこいのイベント!! ということで子どもの居場所にもなっている「コミュニティサロン太陽食堂」を利用している小中学生が中心となって大掃除をしました。

昨年8月から本格的に稼働スタートした太陽食堂ですが、大学生や一般のボランティアも交えながら床や窓を拭き、壁もペンを塗り替えて一年分の汚れを落としました。すっかり新品同様の、明るい空間になりましたよ。

掃除の後は差入れの天ぷらやアイスクリームを食べたり、コミックを読みだす子など、思い思いに満喫していました。

ボランティア活動者が無料で借りることのできるサロンが、市内3か所にあります♪詳しくは那覇市ボランティア・市民活動センター(那覇社協内)までお問合せください。

(担当・上原かおり)



「もったいない」を「ありがとう」に変える

フードドライブ

ご家庭で、使いきれずに保管したままになっている「もったいない食品」などを、那覇市内の郵便局窓口(郵便専門局は除く)にある「フードボックス」へ寄贈ください!

那覇市内にある各子どもの居場所などでおいしい食事として活かされます。

ご寄付いただきたい食品 ※保存がきくもの(アルコールは不可)

お米・粉もの・缶詰・レトルト食品
 インスタントラーメン等の乾麺・お菓子
 缶やペットボトルに入った飲料など



ご協力をお願いします!



寄付食品の条件

- 未開封の食品 (包装や外装が破損していないこと、中身に異常がないもの)
- 常温で保存が可能な食品
- 賞味期限が1か月以上残っている食品 (賞味期限が明記されているもの)
- 製造者名が記載されている食品
- お米は精米日から一年以内のもの

※お寄せいただいた食品について、腐敗等、使用に適さないと判断した場合には、処分させていただくことがありますのでご了承ください。

(担当：子どもと地域をつなぐサポートセンター系)

寄附者ご芳名

令和5年7月1日～令和5年7月31日までの寄附金状況(敬称省略)

1,175,615円

一般寄付

- ・金城電気工事株
- ・富原千智・具志堅真末香フラメンコスタジオ
- ・(一財)泊先覚顕彰会
- ・小野建沖繩(株)中部センター
- ・小野建沖繩(株)西崎センター
- ・沖繩看護専門学校
- ・クラウドライク(株)
- ・新崎江也
- ・宮城美笑子
- ・沖繩ガス(株)
- ・KRUGER MITSU
- ・(一社)那覇青年会議所
- ・若狭市営住宅自治会
- ・(公社)沖繩県獣医師会
- ・(株)ホープ設計
- ・社会福祉法人彩生会

おきぎんスマート

- ・ちばりよーな〜ふあ 13件 / 7,100円
- ・な〜ふあゆいまーる 22件 / 26,000円

令和5年4月1日～令和5年7月31日

寄附金総額 4,573,789円